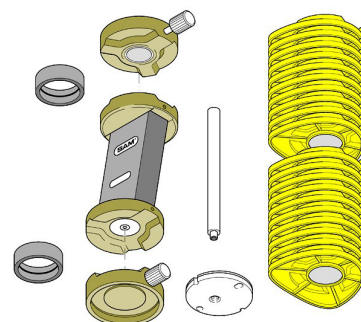
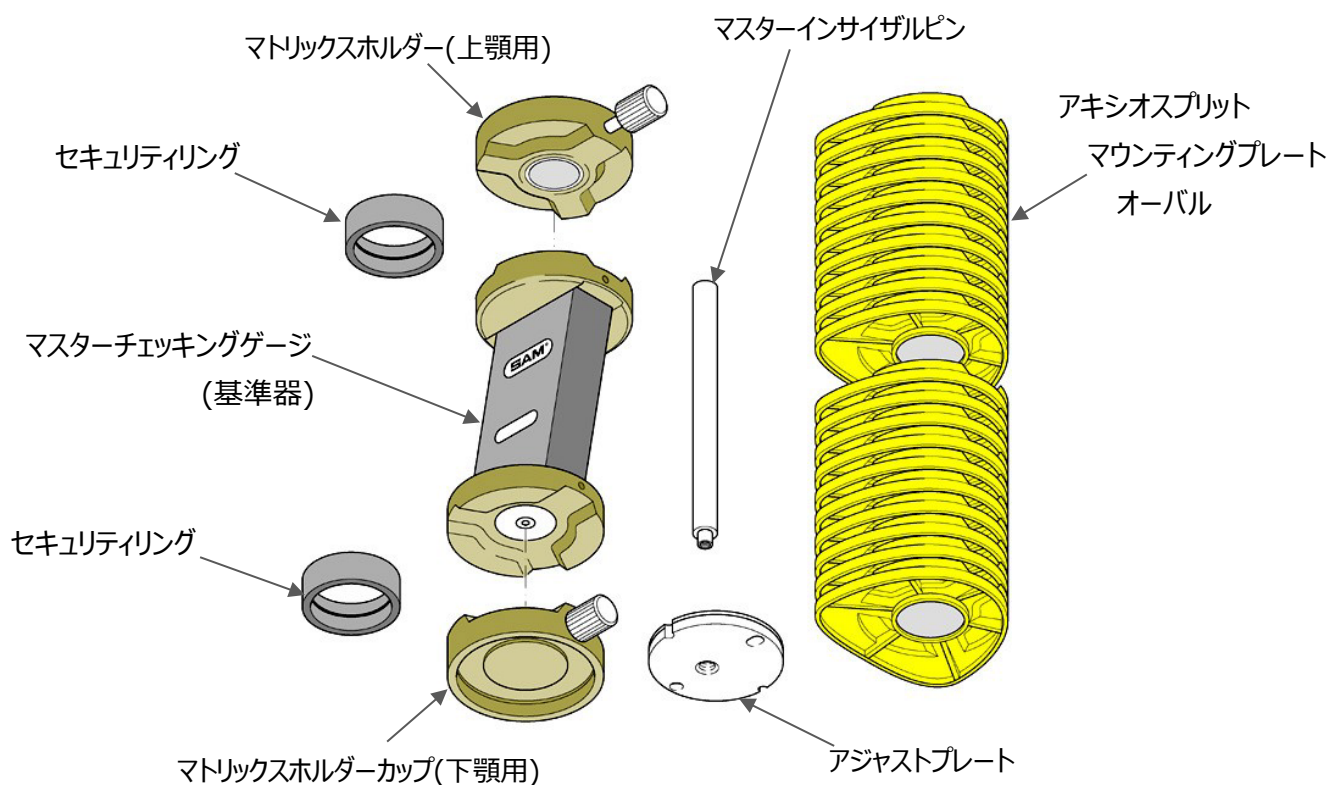


アキシオスプリットシステム(ASP) セットアップマニュアル



JM Ortho Corporation

各部名称：ASP 510K アキシオスプリット スターターキット



複数の咬合器で高精度な再現が可能に

アキシオスプリットシステム(ASP)は、複数台のSAM咬合器に装着しシンクロさせると、上下模型の位置関係において精度の高い互換性を得ることができます。

クリニックとラボの間で同じマスターチェックゲージを用いてASPを取り付けた咬合器があれば、同じ位置関係を再現することができるため、煩わしい咬合器の移動が必要なくなり、模型だけのやり取りで高精度な作業をすることが可能になります。



準備品

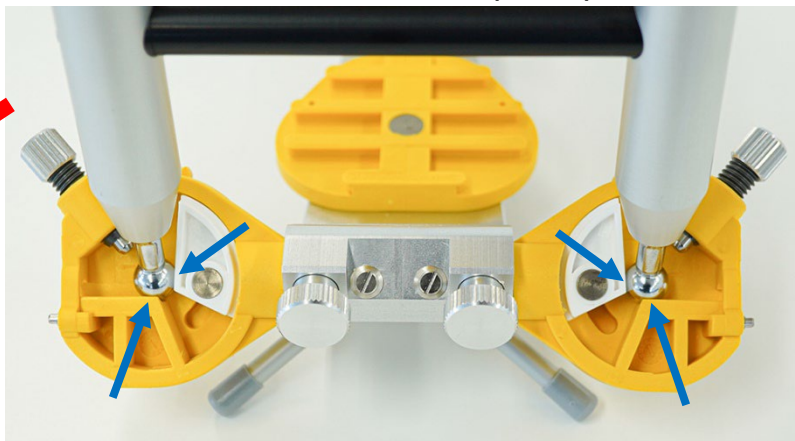
- SAM咬合器 (SAM 2P、SAM 2PX、SAM3、SAM NEO いずれか)
- ASP510K アキシオスプリットスターターキットP
- キャストパターンレジンセット (メーカーを問わず)
- ラバーカップ
- ワセリン
- マスキングテープ (無くても可)



装着方法

1. 咬合器の設定

矢状顆路角と側方顆路角は安定することを考慮し、矢状顆路角45°、側方顆路角5°にセットしておきます。(赤矢印)
また、顆頭がハウジング後壁とベネットガイダンスインサートに接触していることを確認します。(青矢印)

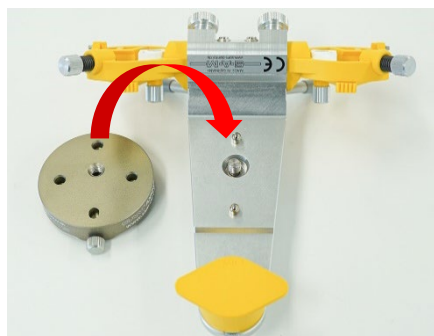


2. マトリックスホルダーの装着

咬合器の上顎模型弓にマトリックスホルダー(上顎用)を取り付けます。マトリックスホルダーを留めるサムスクリューは緩むことがないよう、できるだけ固く締めてください。

※アキシオスプリットシステムは一度セットアップしたら二度と外さないことが前提となります。

外した場合は再セットアップが必要ですのでご注意ください。

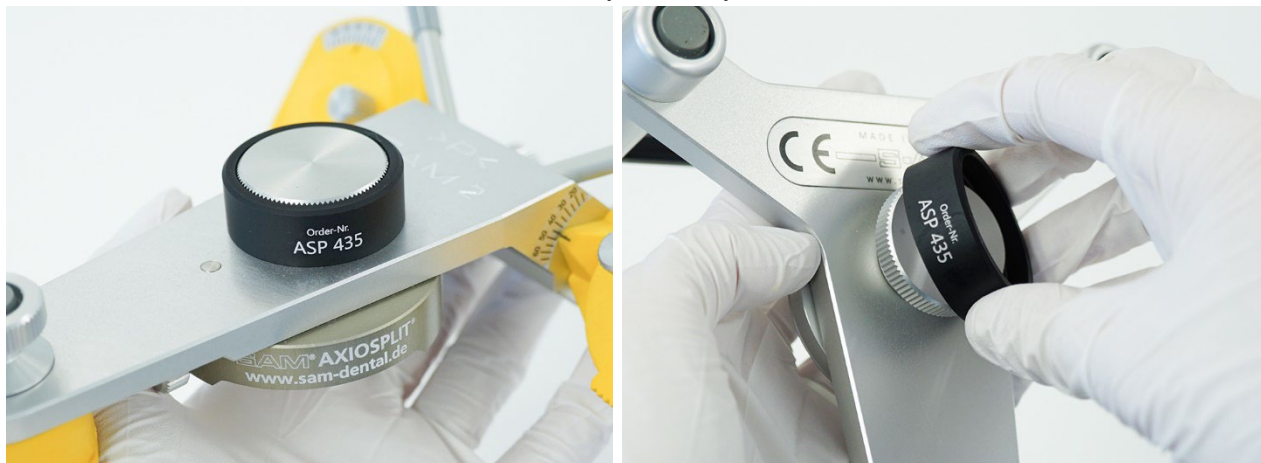


下顎模型弓にはマトリックスホルダーカップのアジャストプレート(シルバーの丸い板)を取り付け、こちらもサムスクリューを固く締めます。



3. セキュリティリングの装着

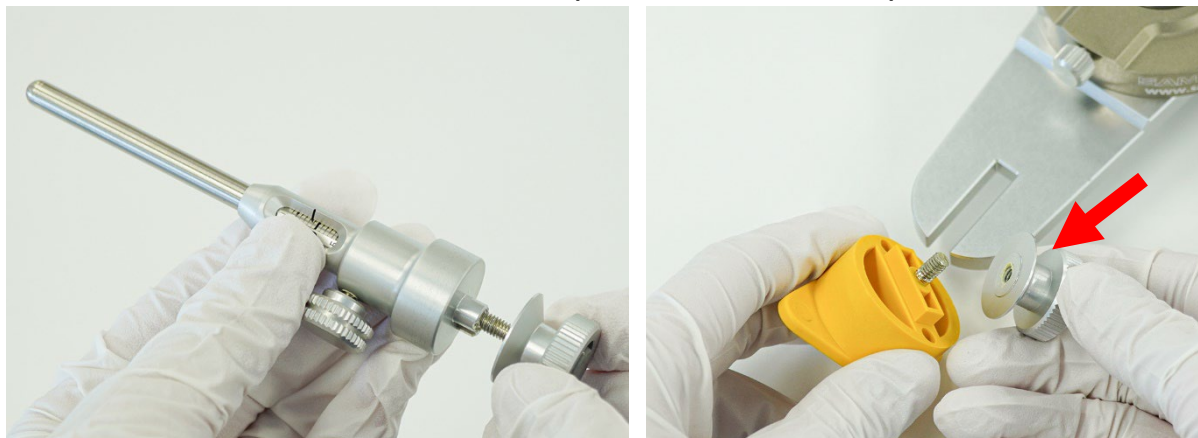
サムスクリューを間違えて緩めないよう、セキュリティリング(黒いリング)を上下顎模型弓のサムスクリューにそれぞれ被せます。



4. マスターインサイザルピンの固定

咬合器からインサイザルピンを外します。

続いてインサイザルテーブルを外し、こちらはスクリーン(ツマミのついたネジ：赤矢印)を取り外します。

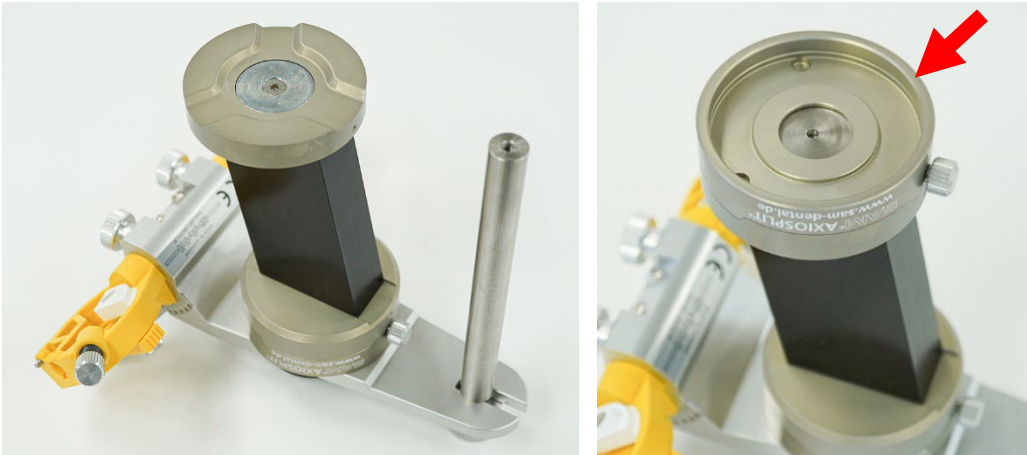


ASPスターターキットの中にセットアップ専用のマスターインサイザルピンが入っていますので、インサイザルテーブルから外したサムスクリューを使用して上顎模型弓に取り付けます。



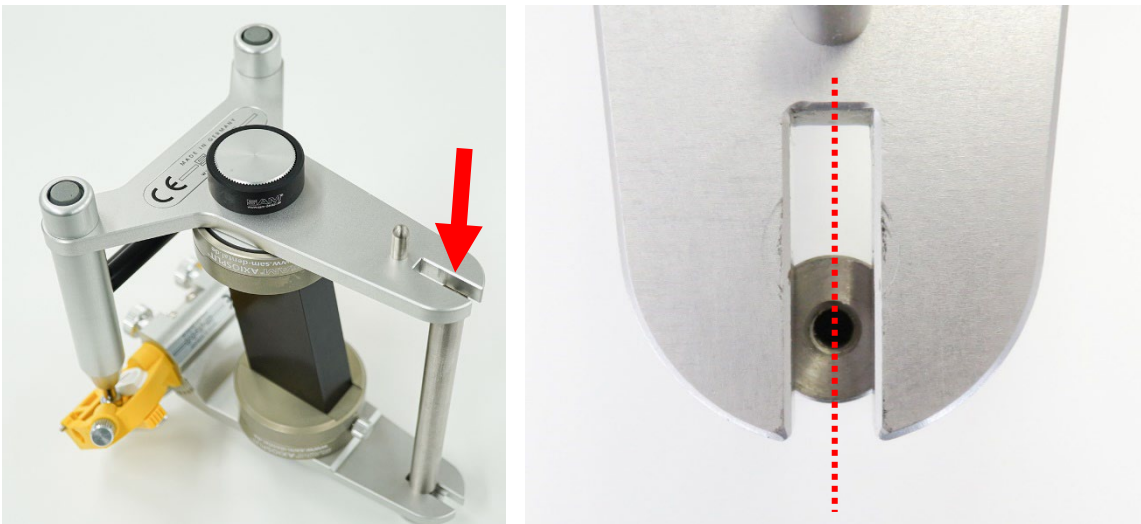
5. マスターチェックングゲージ、マトリックスホルダーの取り付け

マスターチェックングゲージ(黒い基準器)を取り付け、その上に下顎用のマトリックスホルダーを設置します。



下顎模型弓を上顎模型弓に乗せ、試適します。

この時、下顎模型弓のスリットに対し、マスターインサイザルピンの穴が正中付近にあることを確認してください。ずれている場合は、マスターインサイザルピンを緩め、位置調整を行ってください。



6. キャストパターンレジンによる仮留め

※仮留めの手順は、レジンを盛る前に必ずシミュレーションをしておいてください。

マグネットの裏側(中央のくぼみ部分)にワセリンを塗布して、万が一レジンが流れ込んでもマグネットがレジンに着いてしまわないようにしておきます。

キャストパターンレジンシリコンカップ等で練和し、マトリックスホルダーに3カ所盛り付けます。



レジンが固まる前に素早く下顎模型弓を乗せ、左右両側のセントリックロックスクリューを絞めます。

そのまま十分に時間を置いて、キャストパターンレジン硬化させます。



硬化後、念のためマスターチェックとの隙間を確認します。平面部は埃などを噛んでもずれないよう紙一枚が入る隙間がありますが、斜面部が均等に接触していれば問題ありません。



※通常は問題ありませんが、万が一斜面部に大きな隙間がある場合は、次章の「アキシオスプリットシステムの外し方」に従い一度取り外した後、再取り付けを行ってください。

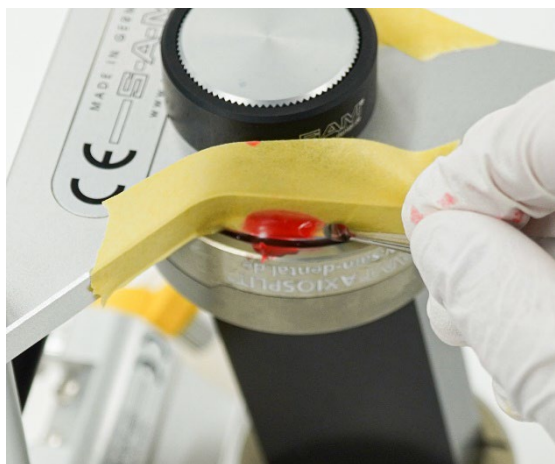
7. キャストパターンレジンの流し込みによる本固定

マトリックスホルダーとスレッドリングの隙間に練和したキャストパターンレジンを流し込みます。流し込む量に決まりはありませんが、簡単に外せないような分量を流し込んでおくと安心です。ワックスパチュアで慎重に流し込む、もしくはラバーカップから直接流し込む方法のどちらでも構いません。

この時、咬合器の不要な部分にレジンが付着するのを防ぐため、あらかじめテープを貼ってマスキングしたり、ワセリンを薄く塗布したりしておくことをお勧めします。



溢れたレジンは硬化する前に除去しておきます。



十分に時間を置いて(半日～1日程度)、キャストパターンレジンを硬化させます。

8. 完成

マスターチェックングジグ(基準器)とマスターインサイザルピンを外し、咬合器付属のインサイザルピンに戻したら完成です。

将来的に再装着が必要になった時のために、マスターチェックングジグのシリアルナンバーを控えておき、どの基準器で装着を行ったか忘れないようにしておきましょう。



追加情報 1 : アキシオスプリットシステムの外し方

キャストパターンレジン製の仮留めのミスや、経年使用の影響(ズレ)による再装着が必要になった場合、以下の手順で取り外しを行い、先述の「装着方法」に従って取り付けを行ってください。

1. セキュリティリングを外す

上下顎模型弓のサムスクリューに取り付けられているセキュリティリングを外します。

手で引っ張って外せない場合は、スパチュラなどを使用し持ち上げるように外してください。



2. サムスクリューを緩める

上下顎模型弓のサムスクリューを緩めます。硬い場合はゴム手袋やタオルを使い、ツマミをホールドして回します。



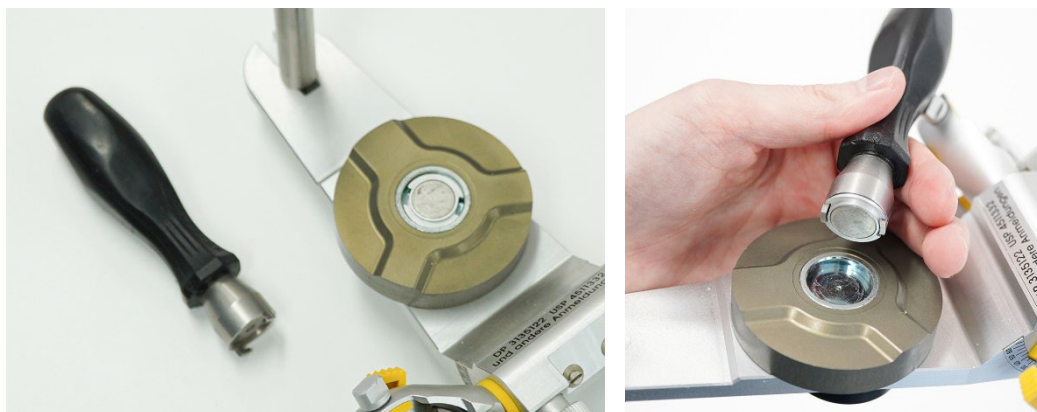
3. マグネットを外す

下顎模型弓にあるマトリックスホルダーのネジを緩め、マグネットをマトリックスホルダーから外します。



<古いASPタイプの場合>

購入時に付属していた専用のドライバーを用意し、マグネットに引っ掛けて取り外します。



4. アジャストプレートを外す

アジャストプレートはキャストパターンレジンで固定されていますので、デンタルバーナー等の熱でレジンを柔らかくして外します。アジャストプレートを直接加熱したり、マトリックスホルダーカップの側面から加熱したりします。(マトリックスホルダーに目立った焦げ目がつくことはほぼありません)



ある程度加熱できたら、タオルで掴み、エバンス等を用いてこの原理で持ち上げてください。

※この時、マトリックスホルダーが非常に高温になりますので、絶対に手で触れないようにしてください。

また、レジンから煙が出ますので、吸い込まないように注意してください。



5. レジンを除去する

レジン是非常に強固に付着していますので、デンタルバーナーなどで温めながら除去します。



以上で取り外しは完了です。前章に戻り、再取り付けを行ってください。

各アイテムについて

■アキシオスプリットマウンティングプレート オーバル

商品番号：ASP420

枚数：20枚



■アキシオスプリットマウンティングプレート ラウンド

商品番号：ASP425

枚数：20枚



■アキシオスプリット アーティキュレーターキットS

既にマスターチェックゲージ(基準器)をお持ちで、咬合器2台目以降に装着する際のキットです。

商品番号：ASP515K

内容：

- ・ 上顎用マトリックスホルダー 1個
- ・ 下顎用マトリックスホルダーカップ+アジャストプレート 各1個
- ・ セキュリティリング 2個
- ・ アキシオスプリット マウンティングプレート オーバル 2枚



